



# Veritas Alta SaaS Protection Microsoft 365 Multi-Geo ロケーションコントロール

## 地理的な場所のコントロール

コンプライアンス要件、特にデータ処理に関する要件については、ますます厳しさを増しています。規制の多くは、データを保存する地理的な場所に制限を設けています。

テクノロジーの進歩、特にクラウドストレージの導入、そして企業が収集および保存するデータとその用途に対する認識の高まりが新たな法規制につながっています。こうした新たなコンプライアンス要件により、多くの場合、事業を展開する地域の現地法に準拠したデータレジデンシーまたはローカライゼーションが必要になります。

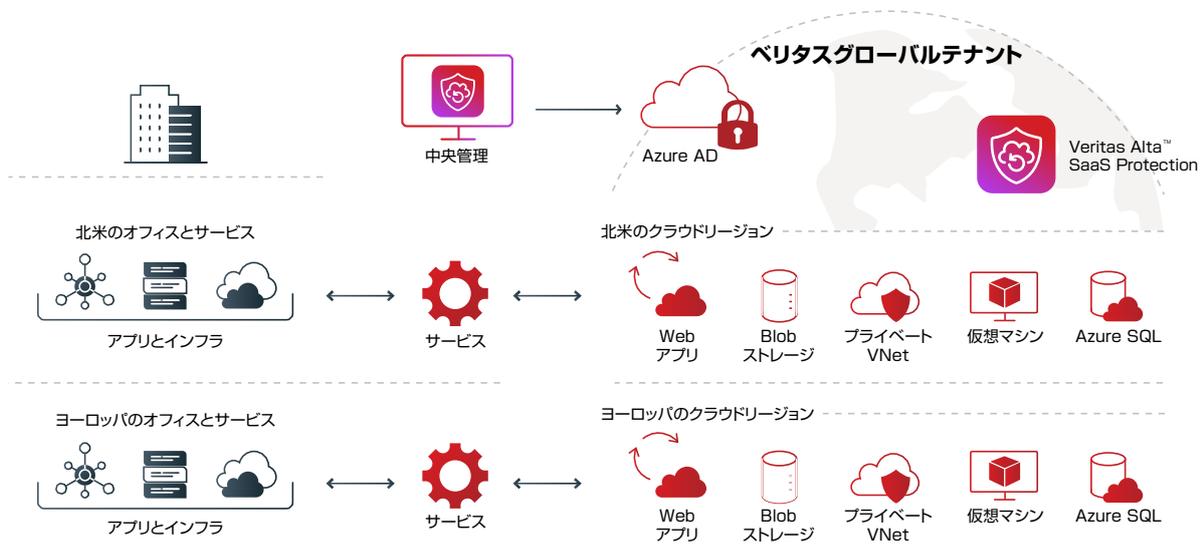
## Microsoft 365 Multi-Geo ロケーションコントロール

Microsoft 365 Multi-Geo ロケーションコントロールにより、企業はテナントの中央ロケーションと複数のサテライトロケーションを指定できます。この機能を使用すれば、大規模な多国籍企業は、コンプライアンスおよびセキュリティの取り組みをユーザーレベルまで合理化し、さまざまなリージョンのユーザーに一貫したエクスペリエンスを提供できます。

## Veritas Alta SaaS Protection によるデータレジデンシーのコントロール

規制の影響を受けるデータは、企業が日常的に使用するデータに限りません。アーカイブやバックアップデータにも適用されます。

企業は、すべての Microsoft 365 バックアップデータに対して単一の Veritas Alta™ SaaS Protection (旧 NetBackup SaaS Protection) テナントで対応できます。自動化されたポリシーを、Azure Active Directory (Azure AD) 内のジオロケーションデータを使用するように設定できます。preferredDataLocation プロパティを使用して、どのデータをどのリージョンに保存するかを決定します。複数の Azure リージョンにわたって Veritas Alta SaaS Protection を配備している大企業は、この機能を使用して、Microsoft 365 データがポリシーで指定されたリージョンに自動的にバックアップされるようにすることができます。



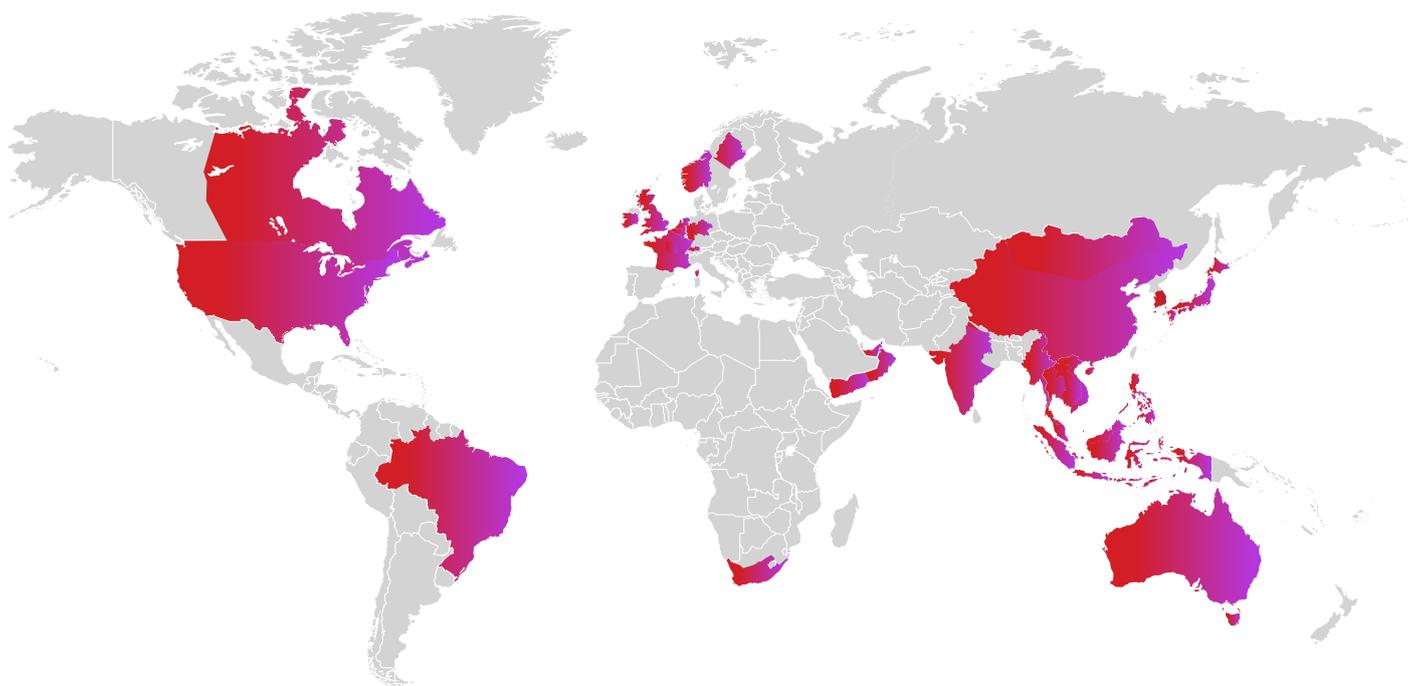
ベリタスの多くのお客様はデータストアのフェデレーションを使用して以下を実現しています。

- 全社規模での電子情報開示（eDiscovery）の実行
- 業務を展開するすべてのリージョンでの GDPR コンプライアンスの確保

Veritas Alta SaaS Protection で地理的な場所を割り当ててデータが物理的に所在する場所をコントロールすると、次のような利点が得られます。

- シングルテナントアーキテクチャ
- SaaS（Software-as-a-Service）
- 専用リソース
- 複数のリージョンに分散可能
- データのシームレスなセグメント化
- 単一の統合管理コンソール
- ロケーションに基づいて管理者アクセスを割り当てることができる  
役割に基づくアクセス制御（RBAC）

ベリタスは、下記のリージョンへのプライマリ Veritas Alta SaaS Protection インスタンスの配備を提供します。ディザスタリカバリシナリオでは、より大きな範囲のリージョン選択も可能です。



#### サポートされる Azure リージョン

オーストラリア中部	オーストラリア東部	オーストラリア南東部
ブラジル南部	カナダ中部	カナダ東部
米国中部	米国東部	米国東部 2
東アジア	フランス中部	ドイツ中西部
インド中部	インド西部	インド南部
東日本	西日本	韓国中部
米国北中部	ノルウェー東部	北ヨーロッパ
南アフリカ北部	米国中南部	東南アジア

スウェーデン中部	スイス北部	米国中西部
西ヨーロッパ	米国西部	米国西部 2
米国西部 3	アラブ首長国連邦北部	英国西部
英国南部		カタール
サポートされる Azure GOV リージョン		
US Gov アリゾナ	US Gov テキサス	US Gov バージニア

## エンタープライズレベルのマルチリージョン配備サポート

- すべてのロケーションのデータを単一の統合コンソールから管理
- ポリシーをグローバルおよびリージョン単位で設定
- 追加のリージョンに迅速かつ容易に拡張
- ベリタスのコンテンツインデックスにより、データが保存されているすべてのリージョンを対象とした単一検索を実行できます。

## 地理的な場所の管理

お客様の Azure Active Directory との統合により、Microsoft 365 Multi-Geo とのシンプルで直感的な完全統合が可能になり、以下を行えるようになります。

- 必要に応じて複数の Azure リージョンヘルソースを配備する
- ユーザーのジオロケーション情報を取得し、指定したリージョンに自動的にデータを書き込むように、Veritas Alta SaaS Protection と Azure Active Directory の統合を設定する

Veritas Alta SaaS Protection は、Microsoft 365 Multi-Geo 設定と動的に連携して、指定した Azure リージョンにユーザーとバックアップデータが保存されるようにします。

## ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃がもたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。

## VERITAS<sup>®</sup>

ベリタステクノロジーズ合同会社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44  
赤坂インターシティ 4 階  
[veritas.com/ja/jp/](https://veritas.com/ja/jp/)

各国オフィスとお問い合わせ先については、  
弊社の Web サイトを参照してください。  
[veritas.com/ja/jp/company/contact](https://veritas.com/ja/jp/company/contact)